

学校再編についての意見交換会（町内小中学校校長を対象に）

実施日時：平成28年11月18日（金）午前9時20分～10時

実施場所：南郷庁舎201会議室

出席者：町内小中学校校長9人

- ・中学校の再編については保護者の多くは賛成していると思う。一番の関心事は新しい学校の場所だ。どこに建てるのか、どのような予算でどのような学校ができるのか、具体的な構想を早く出して欲しいと思う。
- ・通学時間を長くしない工夫が必要ではないか。保護者はそこを一番心配していると思う。
- ・小学校の再編についても、今のうちから話を出して、布石を打っておくことも大切ではないか。
- ・通学手段がスクールバスになることによって、体力が低下しないか心配される。現在の小中学校の児童生徒の体力と通学手段（バスか否か）、通学距離等と体力との相関関係のデータなどを調べおくことも大切ではないか。
- ・放課後活動に時間的な制約が生まれることが心配される。その対応を十分にとっていただきたい。
- ・中総体県大会の出場枠を再検討すべきではないか。
- ・PTAについても同様に統合後の組織をどうすべきか、考えておくべき。
- ・あらゆる点について保護者への説明を丁寧にしていただきたい。
- ・通学手段の問題が一番であろう。スクールバスの対応（路線）をできるだけこまめに編制して欲しい。
- ・生徒会が中心となってアンケートを行ったものを見ると、生徒は生徒なりの様々な心配事もあるようだ。
- ・校舎の古さから考えれば1年でも早く統合して新しい校舎にして欲しい。
- ・小規模の中学校では免許外の先生が増える。
- ・小規模の中学校では競争心もわかず、学力向上が難しい。

以上